

[東京うこっけいの肉利用]
東京うこっけいの低コスト肥育の検討

上原由史・鈴木亜由美*
(畜産技術科) *現農振事

【要 約】東京うこっけい雄の有効活用を検討するために、肥育試験を行う。ブロイラー飼料の他に、消費期限切れの α 化米を添加した飼料を給与し、生産性を比較した。増体等の成績に差はなく、飼料費の低減が期待できる。

【目 的】

東京うこっけいの雄は、現在繁殖用以外はほぼ利用されていない。これを有効活用しブロイラー飼料等を給与し、肉利用をする事を目的とする。ブロイラー飼料に消費期限切れのアルファ化米(α 化米)を混合して給与し、低コスト肥育の可能性と出荷体制が未整備なことから、長期肥育の生産性を検討する。

【方 法】

87日齢の東京うこっけい雄鶏に、採卵鶏飼料(採卵鶏区)ブロイラー飼料(ブロイラー区)、ブロイラー飼料に α 化米を50%混合(α 化米50%区)と25%混合(α 化米25%区)し給与する。試験期間中の飼料摂取量および増体を測定し、供試鶏は肥育開始から96日(184日齢)、110日(198日齢)、125日(211日齢)後にと鳥し、精肉重量を測定し生産費を算出し生産性を比較する。

【成果の概要】

1. 肥育中の体重の推移(図1)は、各試験区の体重に有意差は見られない。各区とも増体率は個体差が大きく見られ、28日ごとに区切り試験区ごとの増体率を比較してみたところ、各区の有意差は認められない。(表1)。
2. 精肉歩留りと精肉重量(表2)は、肥育96日の精肉重量で、ブロイラー区と α 化米50%区間で差がある傾向($P=0.11$)は見られたが、全てに有意差は認められない。
3. 飼料摂取量を測定し、1日あたりの飼料費を計算する。 α 化米を混合すると、飼料費は低く抑えられる(表4)。生産費は、共通経費(表3)を算出し、飼料費を加え総生産費とし、総生産費は1460.2~1756.9円/羽(肥育96日)、1524.9~1866.1円/羽(肥育110日)、1631~2045.3円/羽(肥育125日)となる(表4)。精肉100gあたりの生産費の差は、それぞれ α 化米50%区との差が最大となり、採卵鶏区比約20%、ブロイラー区比では約15%の低減が見込める(表5)。
4. 本研究においては一日あたり増体と飼料要求率の関係(図2)は、肥育56日までは肥育効率に優れるがそれ以降は効率が低下する。しかし肥育96日が、肥育56日とした場合よりも、精肉100gあたりの生産費が最も抑えられる可能性を得られた(表5)。
5. まとめ： α 化米非混合用飼料と比較し、 α 化米の混合給与でも増体や歩留まりの差はなく、生産費の低減が期待される。
6. 留意点：コストを肉利用のみで吸収することになる。生産費が高額なため、定期定量出荷先の確保が必要と考えられる。そのためにも肉の機能性の究明が必要である。

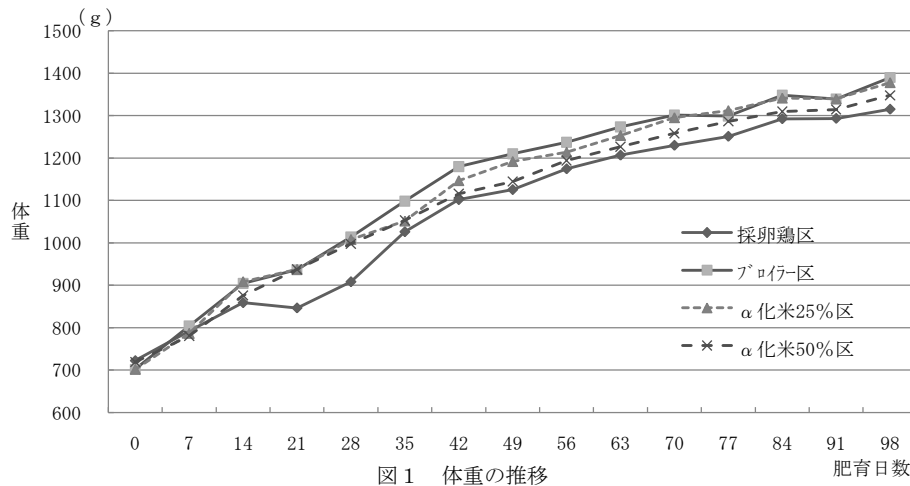


表1 うこっけい雄飼養成績 (増体率)

	肥育期間					
	0-28	28-56	56-84	84-96	96-110	110-125
採卵鶏区	26.2±13.2	33.9±17.9	10.3±4.4	1.8±1.3	1.5±3.5	2.7±3.5
プロイター区	44.7±13.6	23.1±11.3	9.1±3.4	3.0±2.7	-2.3±6.4	5.6±9.4
α化米25%区	44.0±11.7	21.8±14.3	10.7±5.4	2.7±2.1	1.5±3.2	2.4±2.7
α化米50%区	39.2±12.4	20.3±11.3	9.8±4.2	2.9±3.1	0.2±8.4	3.2±4.1

(%) ± 標準偏差

表2 うこっけい雄産肉成績

	精肉歩留まり (%)			精肉重量 (g)		
	肥育期間			肥育期間		
	96日	110日	125日	96日	110日	125日
採卵鶏区	-	41.5±1.4	45.4±1.0	-	562.5±42.4	582.2±29.5
プロイター区	41.5±1.3	43.9±4.4	46.0±0.6	635.1±29.9	585.4±43.0	587.0±12.6
α化米25%区	42.4±0.6	41.1±2.8	44.3±1.5	625.6±14.6	589.3±49.9	571.7±42.6
α化米50%区	41.7±1.5	43.7±4.8	44.6±1.0	598.8±28.2	574.6±38.5	588.5±35.0

(%) ± 標準偏差

表3 1羽あたり生産費共通経費 (円)

	肥育期間		
	96日	110日	125日
解体費	300	300	300
ヒナ代	160	160	160
労働費*	185.2	199.3	212.3
光熱費*	47.2	50.8	54.1
医薬品等*	13.9	15.0	16.0
その他物財費	205.5	221.1	235.7
小計	911.8	946.2	978.2

* 平成21年営農類型別経営統計から算出

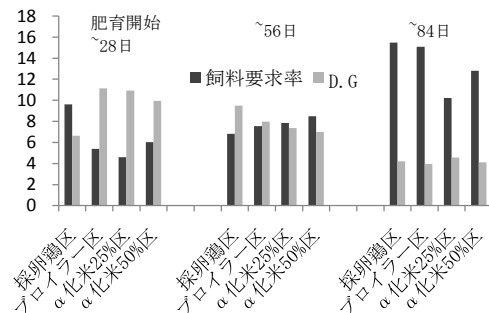


表4 うこっけい雄1羽あたり生産費について

	飼料費 (円/日)			生産費計 (円)		
	肥育期間			肥育期間		
	96日	110日	125日	96日	110日	125日
採卵鶏区	4.59	4.65	5.06	1756.9	1866.1	2045.3
プロイター区	4.34	4.37	4.64	1711.1	1810.6	1958.0
α化米25%区	3.45	3.45	3.76	1546.3	1630.1	1771.2
α化米50%区	2.98	2.92	3.09	1460.2	1524.9	1631.0

表5 精肉100gあたりの生産費について (円)

	肥育期間			
	96日	110日	125日	56日 (計算値*)
採卵鶏区	-	331.7	351.3	(299.5)
プロイター区	269.4	309.3	333.6	(279.6)
α化米25%区	247.2	276.6	309.8	(266.2)
α化米50%区	243.9	265.4	277.2	(260.1)

* 歩留まり41%として算出